磐城每日

發行所 福島縣平市南町六六（平局區内）
株式會社 磐城每日新聞社
編集兼印刷發行人 遠藤孝倫
電話（平）一二一〇番

御愛讀下さい

縣の大幅な融資決定
薪炭業者行詰打開さる

木炭統制撤廢後資金難に逢着した管内製炭業者は需用減退の夏場に入ると共に之れが乘り切り對策と融資問題に就て三十日地方事務所に農業協同組合、薪炭協同組合、森林組合その他の生産業者が合同協議の結果、管内の製造、集荷販賣業者一千二百名の窮狀打破の爲め生産地最寄驛に縣費に依る木炭倉庫の建設と生産者に對しては縣保證による俵百円の融資を受けることになつた、これで弱小業者もこの大幅融資さえあれば、在庫品の投賣を抑制出來るし、市場相場も或る程度の變動防止となり集荷木炭の品質低下も未然にふせげることになるので生産面にも幾多の行きづまりが打開される譯である

管内の麥は增收

麥の供出期も近づいたので石城地方事務所では管内の作況調査を急いで居るが、其の結果は六月早々まとまる豫定、五月末現在迄の收獲豫想は大麥先年度の九割七分で約四万石見當、小麥先年度の十七割七分で約七千五百石で今年度の生産割當三万六千四百九十石に對し一万石以上の餘有が見込まれ麥の供出は順調に完了するものと見られてゐる

星一氏後援遊説

全國區田倉候補の選擧後援の爲め參議員星一氏は三十一日來平、いこひ旅館に小憩の上濱通り各地の遊説に向つた

開拓事務所看板替

平開拓建設事務所は今一日より平土地改良事務所と名稱を替へて發足することになつた同所は前身である十八年三月設置された縣廳耕地課平出ちよう所の二十二年十二月の發展的解消に依り置かれたもので郡内各町村に於ける一般耕地問題、土地改良、耕地整理及びそれに附隨する還地處分等を行ひ農業經營に益すことが大であつた、昨年八月に土地改良法が施行されたことに依つて此の度の改稱となり土地改良に關する一切の事業を行うことになつた

生業資金貸付
平扱一千萬圓

平市庶民公庫取扱になる引揚者生業資金貸付は現在高は石城、双葉の兩郡下一千百九十名金額一千四十万四千円となつて居り回收額二百三十二万一千二百六十七円で、第六次の本年度五月廿九日現在十七件二十五万円で更に縣より貸付金の配分があれば申込受付順に貸出を開始するもので當分貸出しは中止してゐるものである

社說
救濟事業を生せ

國土計畫にもとづく道路の改修、都市計畫の推進と各地に膨大な土木事業が都會と地方とを問はずに施行されてゐる、今度は失業者救濟事業が新規な豫算で市町村に交付されたため土木事業全盛の感を呈してゐる、此の工事施工に際して各町村別に豫算の分取りには陳情團を出ちようせしめて運動を行うし、決定豫算額に對しては町村理事者が失業者救濟事業の名目で事實は土木請負業者の救濟に利益を與え社會から疑惑を招き易い請負契約をなすものあり心あるものをして理事者の不德義不信の聲を双葉地方から聞れてゐる

其の例を引くと、工事區を請負業者と契約した工事に別個の豫算面から出費するべき失業者の勞働力を提供せしめ營利事業の請負業者に利益を與え失業者の稼働賃金は失業救濟事業費から出費せしめてゐるのである

失業者人夫の數の多い程施工者の事業は促進され思い掛けない不勞所得に喜んでゐる、之れでは町村理事者や關係者との間に疑惑を招ぐのも當然であり、又失業救濟事業の性質を眞に理解し、國家の基礎をつくる爲めに失業者を有効に就業せしめてゐるかどうか失業者は世の落伍者であり厄介物扱えとして働ねば賃金を支拂へぬから出勤せしめて支拂うだけ、と云う底意からこの貴重な勞力を以つ意義ある產業その他の施設に振り向けると云う信念で事業計畫をたてるのは眞に遺憾なことである、事業豫算はどこまでも有効でなくてはならないし、失業者と雖も勞働は賃金の對象として其の價値だけは眞劍に就勞せしめ事業の意義を失はぬ様に心しなくてはならぬ、政治的カラクリなぞは絶對に排除する必要がある

種痘實施
各學校で

平市本年度の種痘を左記の要領で實施するから該當者は漏れなく受痘せられたい▲生後二ケ月から十二ケ月に至る者（第一期種痘）明年小學校に入學する者（第二期種痘）其の他一般市民（小中學生を除く）豫防接種料は十円（生活保護者は免除）場所、受痘區域は

▲五日第五小學校講堂飯野支所管内全部（平病院醫師）▲五日第六小學校講堂神谷支所管内全部（大場醫師）▲六日第四小學校講堂第二十九、三十、三十一區（後藤醫師）▲六日第二小學校講堂十六、十七、二十七、三十二、三十三、三十四、三十五區（松尾醫師）▲七日第三小學校講堂八、九、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十六、二十八、三十六區（安齊醫師）▲七日市公會堂一、二、三、四、五、六、七、十一、十二、十三區（谷口醫師）八日第一小學校十四、十五、二十三、二十四、二十五區（江尻醫師）で何れも種痘時間は午後一時より午後四時までとなつてゐる

平保健所

防疫係では三十一日湯本町の旅館業主、理髪店主に夏季傳染病發生豫防稼策を完全に勵行させるため現地に出帳指導を行つた

平市選擧

管理委員は左の通り▲委員長門傳淸吾▲委員阿部治英▲同遠藤心光▲同鈴木庄之助の各氏

新設電話開通
一二一〇番
磐城每日新聞社

企業振興
十二億融資有望

福島縣中小企業振興本部第二回總會は三十日福島市で行つた、此の會議に於て十二億の融資が可能である事を確認され中小企業者えの明るい見通しを與えてゐるこれは今まで縣當局が信用保證協會基金千五百円のところを三千万円に增加すると共に豫算外義務負擔一千万円計四千万円を保證することになり、市中銀行との話合で其の十倍四億まで融資することになつた、之を年二回運轉すれば八億、三回では十二億であり現在の狀勢下にあつては六ケ月は永くやはり年三回が適當であり結局十二億の融資可能と言ふことになるわけで、信用保證協會でも極力此の制度の利用を望んで居る、縣下各商工會議所では之らの融資の連絡所となり保證に付ての手續其の他の勞をとり中小企業者えの便を計る此の完全運用は現下の苦境に立つ中小企業再建の大きな役割をはたすだろう、なほ同日行はれた役員改選に平地區からは顧問に諸橋久太郎氏、副會長に赤津庄兵衛氏、役員伊藤平商工會議所常務、馬目縣議、高木商業協組專務が選ばれた

水菓業者
拔打檢査

二十九日平保健所では四ツ倉町内アイスキャンデー營業者の一齊取締りをぬき打的に行つた、製造場の設備は概して良好であつたが賣子用の容器に就ては非衛生と認めるもの多數あり、之れは改善せしめることになつた

憲法講演

來る十日午後七時から九時まで縣教育委員會では憲法の眞意義を徹底普及させるため毎日新聞社論說委員講演課長を招いて平市公會堂日本間で憲法普及講演會を開く

乳衛生說明會

平保健所では三日午前十時から平市鎌田岸岡田ミルクプラントで夏季牛乳衛生說明會を開き石城郡下酪農組合長並びに牛乳處理の係員を招いて牛乳の品質向上及び夏季の腐敗酸敗防止對策について協議する

人事ニュース

△新任福島地檢野村佐太郎檢事正は三十一日來平し管内初巡視を行つた

△仙台東北民事部佐竹、吉田兩調査官は平市方面の選擧狀況視察の爲三十一日來平、選擧終了迄滯在の豫定

「有言實行」これは民主社會に於て重要なことは論ずるまでもないことであるが言論の自由とばかりに言いたいことを言つて實行しない人の余りにも多い現實の世相を遺憾に思い一言述べることにする

自分の吐いた意見なり言葉にはすべからく責任を持つべし、そうして責任を持つて言つた言葉は實行すべし「言うは易く行うは難し」我々はかゝる角度から今回の參議院選擧に於て街頭に、放送に、演說會に聲をからし雄辯をふるつて、自已誇張宣傳に懸命の候補者中より眞に我々を代表する人物即ち「有言實行」の士を見拔いて選擧しなければならない、國をよくするも惡くするも我々の六月四日に投ずる一票によるのだということを確認して

此の漫畫は市內鎌田町酒井生筆になるものゝ投稿で之を本社は直ちに寫眞版としたもの（投稿迎歡）

官衙學校職員錄（其の八）

平石炭局

施設部長 小島美彦
同課長 佐藤京三
資材係長 平山計太郎
上澤軍司
馬場政任
豐口浩
佐藤四郎
瀧昇一
大庭幸子
電力係長 佐藤忠雄
大勝一雄
千輝照子
技術課長 川井康文
同係長 阿部道近
佐藤淳一郎
村山多喜治
渡邊昭
鑛務係長 戸塚好雄
石川貞藏
草野冷子
白土千枝子
分析係長 小酒井正平
富田直彥
宇佐美正德
園部武久
溪紀七郎
選炭係長 和田榮作
開發課長 佐藤京三
同係長 氏家正助
片倉親助
新井芳夫
小川孝道
林一雄
岡田君子
調査係長 管原省
福田貞信
土田忠廣
齋藤博子

◉東京支局

支局長 菊地春雄
總務係長 大久保公三
吉田齊一
吉澤喜代八
喜多川康二
鈴木卯三郎
押木節夫
村山乙井
吉田尚
會我部政敏
重次保
服部契
齊藤京子
工藤智惠子
仙台支局長 水野進
名古屋支局長 管原良忠

平第二中學校

校長 撞井浩
教諭 馬場次郎
山下卓
叶多政壽
高木隆四郎
吉田英政
鈴木孝次
羽賀靖世
廣田德一
菅沼公夫
松本周司
近藤昌龍
阿部武
谷平泰男
藤岡興八郎
山崎文雄
白井欽一
增子貴昭
石澤英之
新妻武義
野村ヨシノ
清水玉枝
長瀬品子
草野ウメ
小林八千代
酒井ちゑ
瀬谷靜子
佐藤たつ

磐城 祝 每日

發刊

磐城印刷工業協同組合

理事長 渡邊治平
理事 山野邊重太郎
同 藤田專吾

事務所
平市南町七六番地

理事 永野孝夫
監事 會川孝太郎

消費量六千九百石
税額一億二千五百萬圓
酒造税は王座

本一日のタックス・デー（税金記念日）にちなんで平税務署では平、小名濱、植田の三ケ所に於て改正所得税法の説明會を開催することは既報の通りであるが、同署間税課では酒の製造過程を大阪寫眞で説明の又郡内二十六軒の酒造店銘酒を陳列し其の税率を明記するなど酒に對する認識を深める催を行う、郡内の昨年度酒消費量は六千九百石で内譯は一般消費四千六百石炭礦二千三百石で縣内第一の消費量である、又郡内より上る酒造税は一億二千四百八十二万八千百十四円で内譯は正規酒造税一億二千四百三十七万三千五百五十一円、密造酒徴税四十五万四千六十三円と云ふ莫大なる金額となり斷然國税の王康をなして居る

藥品殺虫力檢査
平保健所販賣紹介役

平保健所藥務係では管内の夏季傳染病の發生を防止するため殺菌力の強度な藥品の販賣紹介の勞を執つてゐるが同係で實驗の結果各社DDT製品による虱の死滅時間は三立製品十時間、三菱製品五時間、日曹製品七時間、味の素製品五時間、吳羽製品は五時間で價格は粉末一瓩當一八〇円位、液体一ガロン四百円位、直接販賣元で大量に講入すれば廉價で濟むのでどんどん同係まで申込んでくる樣望んでゐる、また除虫菊乳劑は統制品なので同係で希望者數だけ縣當局から取寄せてくれる

桑畑を荒す
奇虫澤渡に發生
担任技師派遣調査

郡下澤渡村下市萱に桑園荒らしの奇虫が發生したのを農業共濟組合員佐藤彌氏が發見、地方事務所蠶絲課に届出でた、その被害の判明したものは桑園二反歩である、奇虫について地方事務所伊藤蠶絲課長は次の如く語つた、全体から見て成長した蠶との違ひは背後にとげか三ツと尾部に二ツあり色合ひは蠶の灰白色に對して緑色で背中に乳白色の筋があるし蠶の足は腹に四對ある所がこの奇虫には一對しかなく、その他蠶にある三所の鬼門六對、眼狀班もんい字形班もんが全くない

石城郡農業共濟組合では之れが撲滅對策について郡山試驗場へ急報したので病害虫擔任技師が今明日中現地調査に出張する

市の塵芥
一年七千噸

市衛生課では春から夏にかけて市内の清掃のため、毎日十名の衛生夫を四區に分ち塵芥集めに努めてみる、これをトラックで燒捨場に送り込む量は一日十屯に達してゐる、これは各戸の塵芥箱から集めた分だけであるから、其の他の場所に放棄、燒却したものを併せると莫大な數字にのぼるもので年千屯推定となるその經費も亦何百万円と云うものである、之等は市民各位の心掛で減少出來ることでもあり保健衛生の上からも市街美構成の点からも市民の再考を要すことであらう

教員對抗
野球二日から

市内各學校教員對抗野球戰は來る七日迄に一回戰を終る豫定、磐高對平一小の試合は二日午後四時より市營球場にメンバー次の通り

シート	磐高	平一小
投手	赤津	鈴木
捕手	千葉	橋本
一壘手	村上	金成
二壘手	小野	山森
三壘手	志賀	安田
遊撃手	馬目	風間
右翼手	佐藤（信）	佐藤
中堅手	鈴木（守）	佐々木
左翼手	牧野	金澤

補缺　鈴木（七）山名（龍）田代　酒井、遠藤（磐）酒井、増子、坂本

學校兒童に
チラシ配る

石城地方町村選擧管理委員會連合會並びに平市選擧管理委員會では參議院議員選擧の棄權防止の爲各小中學校兒童生徒により棄權防止を通じて各家庭に配ることのチラシ七万五千枚を學校になつた

綴方教室

海

磐女校　二年　中野秀子

太陽の光がやわらかくなり仲間の北風も北の國へと去つて行くと海は長い間の悪魔の様な姿からぬけ出し、一瞬間がぬけた樣にきよとんとして急に惡夢からさめた樣に後悔しはじめる冬中休むことなくあばれまわつた海にとつて春はあたかもやさしい母のふところの樣なものである、やわらかい日ざしやさしい風につゝまれて日一日と海は冬の强暴さを忘れゆつたりと落ついてくる

朝早く素足で波打際を走り春の息吹を胸いつぱいに吸い込む、遠足に潮干狩にとうみは今年も私達の生活の中の樂しい相手として喜ばれる樣になつた

うつとうしい梅雨があけると青い空にはれぼれと日が輝き風鈴の音に何ともいえない涼しさを感じる、夏がやつてくる木々が黒々と茂りせみが油をにえたゝせる樣になきしきる時私達のうみに對する魅力はますます强くなつていく、青いうねりがまるで生きている樣に寄せてきて平な砂濱いつぱいに眞白い布を敷く

本當にうみは生きているだろうか

海鳴りは前よりよほど靜かになつた樣である、活潑な眞のうみの姿を生き生きと表す季節はもうそこまできてゐるのである、去年の樂しさを思い出させるなつかしい香を含んだ風がしつとりと吹き過ぎて行つた

6H・R　佐竹廣介

五月二日の夜明け僕達は二泊三日の旅行にと、まだ平市街の家々は靜かに靜かに眠つて居る頃、朝日を背に希望を前途に胸を張つて出發した、箱根を頭の中に想像して行く僕の心に數多くの驛名は淡い夢の樣に何も心に殘る事なく次々と飛び去つて行く、此の樣にして東京も過ぎ東海道線の車中の人となつた、初夏の風を切つて走る東海道は非常に氣持良く、數大くの美景は次々と心の奥に秘められ先ず熱海驛に着く、熱海から目指す箱根にと二台の貸切バスで我々五十餘名は旅をつゞけて行く、富士の高峰を車窓の左に眺め凡そ二時間の間熱海驛より市街を拔け山道に續く急傾斜面を時一時間も過ぎた頃だらうか小雨模樣となつて來た、小雨のそぼ降る中を强羅へと汽船に乘りこ面に白波けたてながら元箱根の宿を後にした、しばらくの間雨降りはつゞいて午前中で雨はやんだとの喜びは束の間又雨は情容謝なく降り夜灯の細々と照る頃となつても止まない明日は止んでほしいと念じながら夜の强羅の街路を窓邊より打ち眺めて居るとまるで山中の樣な氣持は何一つせず、唯電車の走る音小雨の音を聞きながら二泊目は更けていつた　わづかの日數ではあるが多くの友と語り合いながら樂しく過ごしたのは人生の一時として本當に記念すべき日數であつた

修學旅行雜詠
（箱根）

磐高2H・R　和田敏男

箱根來て肌風寒し國峠

アシの湖に富士の姿も涼しさう

富士見えて水入びたるボートかな

朝早く富士の高峰に雲かゝる

バスに搖れ島下に見ゆ風凉し

旅の日に古里うれし鶯織り

大樂武男

石橋山の古戰場

瀬朝の恨深し翠の山

卯浪來て咲き散る磯や伊豆のがけ

行く春や函根を夢に旅一歩

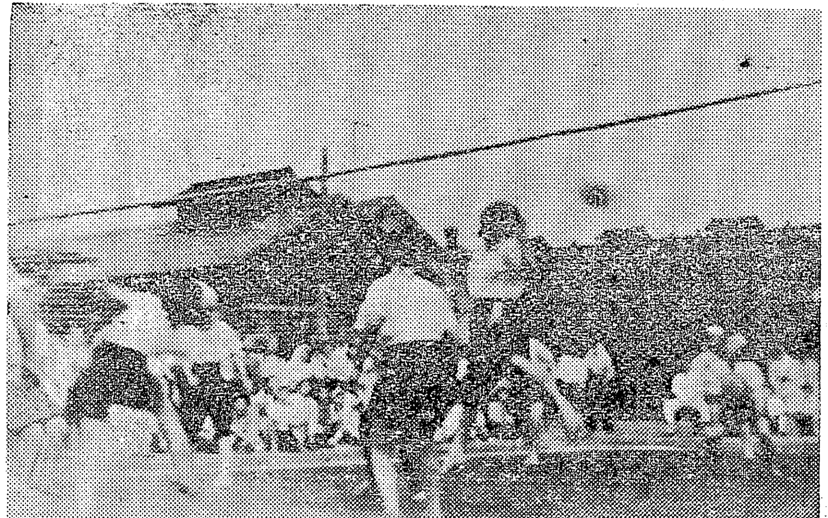
五月雨に苔むす舊り墓石かな

海水浴列車増發
平、小名浜間實情調査

平驛と小名濱驛では毎年夏のかい水浴客のラッシュに頭を悩まし續けてきたが本年夏季からは平－小名濱驛間を直通で運ぶ樣サービス案を水戸管理部に申請したところ近く實地調査を行ふことになつた、實現すればかい水浴客のために大いに便利になると思はれる

强姦土工に
懲役求刑

昨年十一月二十九日午後十二時半頃双葉郡川内村大字下川内字遠山山中で作業中通りかかつた人妻を强姦した双葉郡龍田村大字上繁岡字山所布島倉飯場内土工木村清五郎（三〇）同島倉久義（三二）木村八郎（一九）にかかる第二回公判は三十一日地裁平支部で開かれた松本檢事から島倉久義懲役三年六ヶ月木村清五郎同八郎懲役二年求刑があつた



片倉バレー
優勝杯一般に

片倉製絲株式會社平製絲所春季バレー大會は三十一日同所内廣場で出場チームに男子工務、總務、女子は一般、繰糸、A、B、場返の四チーム、特に女子チームの所長杯爭奪戰は選手達がたじたじする程の應援振りで會場を熱狂させた、試合は

男子
工務2－0總務
女子
一般2－0A組
B組2－0場返
一般2－0B組
A組2－1B組
一般2－0B組
A組2－0場返

で所長杯は一般3勝0敗で獲得した（寫眞は熱戰する女子軍）

八幡丸救助

石城郡四倉町刈込用造氏所有の底曳船第一刈込八幡丸（三五トン一二馬力）は二十九日午前十一時頃小名濱港外四浬の海上で機關に故障を起しSOSを發し同十二時頃小名濱海上保安署うづら丸に救助され小名濱港に於て修理の上四倉へ歸港した乘込員に異狀なし

異つた希望の三人娘
家出して保護さる

岩手縣花卷町一日市裏新次郎長女平澤昭子（二五）同町吹ハリ四八常松長女高橋ミイ子（二五）同町川原五八郎長女堀合セイ子（一七）の三名は三十一日上野行二一二列車平着午前一時二十分で家出、上京しようとしたが花卷署の連絡により列車内で警乘に發見され平公安室に保護された、家出の原因として昭子が兄にいじめられるのを嫌つて一万五千円を持ち出し二人に相談したもので　ミイ子は家が貧しく花卷町に働き場所がないため上京して家に送金しようといふ淺はかな心から、又セイ子は華やかなダンサーを志してゐたもので三名とも雜誌や映畫でみた東京に憧がれてゐた尙現金を昭子が一万二千七百円持つていただけでセイ子とミイ子の二名は無一文であつた

一般軟式卓球

磐城スポーツ連盟主催本年度石城地區軟式卓球選手權大會は四日午前九時から磐高講堂で開さいする事になつた、資格は石城郡内に在住する一般人ならば誰でも參加出來る、男女別によるトーナメント申込は平市才槌小路磐城スポーツ連盟に三日正午まで尙優勝者には星野優勝カップを贈呈する

闇屋署式に不服

相馬郡山上村大字山上字山居平二佐々木テイ（三四）同字山岩十六佐藤カン（六〇）同字廣瀬六九渡邊キン（四〇）同字紙漉澤三九菅野フヨ（五三）は昨年春物價統制令違反で相馬簡裁から略式で夫々千五円八千円、千円、二千円の罰金刑を申し渡されたが五名は之を不服として正式裁判を要求し無罪となつたところが檢事はこれを業務上の物價統制違反として仙台高裁に控訴し原告、破棄となつて平簡裁で罰金刑を八百円六百円千円四千円の判決があつた

職業案内

▲日用品販賣外交員＝十名
市内　年齢不問　歩合給
▲キャンデー賣り子＝小名
濱町　歩合
▲料理店コック見習＝一名
市内　十八－二十才まで
通勤夕食付月二千三百円
▲商店（雜貨）見習＝三名
十六－十七才住込、月千円
▲農夫＝二十名、石城郡内
住込、十六－三十五才月
千円
▲店員（味噌醬油配達）＝十七
－二十才、住込月千円、
小名濱町
▲洋服仕立屋＝市内、五人
經驗、三年以上、通勤日
收二百円
▲伐採夫＝茨城縣、五人、
通勤、日收二百円、宿舎
完備
▲工場關係＝市内、通勤
十八才－二十三才、經驗
二年以上、月收三千円、
旋盤工一名

寶己録

出生　△二十三日平市大字下平窪字諸荷富樫利男（三六）二女靜枝さん

婚姻　△十七日相馬郡上眞野村角川目明（二八）さんと平市大字工町二早立操（二九）さん

死亡　△二十六日平市字鎌田町二五菅野トキ（六二）んさ

五月人形

東京・亀戸製造元
本間商店直賣
市價の三割安い
◎卸は御相談に應じます
平市白銀町（驛前）
上原玩具店

東京都日本橋局區内本町二ノ九
株式會社　日本甲子會
東京事務所
電話日本橋（24）五〇八番
振替貯金東京二四五番
當座三和銀行室町支店

健康保險指定診療所
産科婦人科
齋藤醫院
平市南町
電話九二番

健康保險指定診療所
鈴木耳鼻咽喉科醫院
平市田町
電話六一三番

健康保險指定診療所
外科
木村外科醫院
平市南町一四
電話三〇九番